

## 令和2年度「防犯カメラの設置など地域における防犯対策に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

### 1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q5の「お住いの地域の防犯活動（パトロールなど）や防犯に対する意識についてどのように感じていますか」に対する回答として「ア 活発で意識も高い」と答えた方が6.1%（76人）にとどまりました。この結果を踏まえ、区役所と連携して地域の防犯意識の向上や活動の活発化を今後図っていくために、地域の防犯パトロールをわかりやすくまとめたマニュアル動画である「地域の防犯パトロール」（<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bohan/chikiboan/douga.html>）などを活用し、地域の防犯活動に対するより効果的な支援方法を検討していきます。

また、Q6において54.3%（671人）の方が「イ 警察や自治体からの地域で発生した犯罪に関する情報提供」が犯罪の抑止に効果的と答えていることから、神奈川県警察や区役所等と連携して、迅速かつ具体的な情報提供の方法を検討していきます。

### 2 アンケートを実施した感想

防犯カメラの設置や地域における防犯対策について、市民の皆様が被害に遭わないようにするためにやっている防犯対策や普段の生活から心掛けていること、または気になっていることなど、様々なご意見を記載いただき、結果の数値からだけでは得られない貴重な意見をたくさんいただくことができました。

Q9において多くの方が防犯カメラで撮影されることに対する不安要因として「ウ 撮影された映像を誰が見ているかわからない」、「エ 撮影された映像がどのように利用されているかわからない」と回答されていました。最近では公共の場所にも多くの防犯カメラが設置されており、防犯カメラへの抵抗がなくなってきたのではと感じていましたが、Q8の回答からいまだに約3割の方が防犯カメラで撮影されることに不安を抱いており、今後、地域に対して防犯カメラの設置を支援するうえで、プライバシーの保護に配慮した適切な運用について丁寧に説明し、お願いをしていきます。

### 3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。防犯カメラの設置や地域における防犯対策に関する率直なご意見をいただき大変参考になりました。

Q11の「なぜ公共の場所に防犯カメラの設置が必要だと思いますか」の質問に対して91%（1,090人）の方が「ア 犯罪抑止効果が期待できる」とお答えいただいていることから、今後、地域のニーズを把握して、防犯カメラ設置補助制度の継続や支援内容について、地域が活用しやすい補助制度を検討していきたいと考えています。

〈横浜市からのお知らせ〉

横浜市内の令和2年中の特殊詐欺は、737件、約14億4000万円と依然多くの被害が発生しています。特殊詐欺の被害に遭わないためには何よりもまず「犯人と会話をしない」ことが重要です。犯人は声を録音されることを嫌いますので、「家の電話を常に留守番電話に設定してすぐに電話に出ない」ことが対策として有効です。ご自身はもちろんのこと、家族・親族・友人・地域の方々にも伝えていただけると幸いです。

今後も、市民の皆様が特殊詐欺の被害に遭わないよう、引き続き注意喚起を行っていきます。

担当：市民局地域防犯支援課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。